



平成 30 年 11 月 2 日

各 位

会社名 株式会社ハウス オブ ローゼ
代表者名 代表取締役社長 神野 晴年
(コード：7506 東証第一部)
問合せ先 取締役管理本部長 池田 達彦
(TEL 03-5114-5810)

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 11 月 2 日開催の取締役会において、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 30 年 5 月 14 日の平成 30 年 3 月期決算発表時に開示した平成 31 年 3 月期（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の業績予想数値の修正（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,300	540	540	280	59.54
今回修正予想 (B)	14,300	680	680	350	74.43
増減額 (B-A)	—	140	140	70	
増減率 (%)	—	25.9	25.9	25.0	
(参考) 前期実績 (平成 30 年 3 月期)	13,978	555	531	282	60.08

2. 修正の理由

直営店商品販売事業にて、9 月にエイジングスキンケアラインを一新した「エクセラージュ」ラインが、販売当初からご支持をいただき売上貢献するとともに、クール感のある「ミントリープ」シリーズが猛暑で売上を伸ばし、他の商品も総じて好調に推移いたしました。

卸売販売事業では、国内事業者を通じた中国向け越境 EC の卸売販売が見込以上に伸ばいたしました。

また、不採算店舗等の退店及びそれに伴う店舗数減少によるテナント料の削減や店舗スタッフ数の減少に伴う人件費の抑制効果等により全セグメントでの利益増加が図られました。

下期の経営環境は、不安定要素が多いものの、現状に鑑み、平成 31 年 3 月期通期の業績予想を上方修正致します。

以上